

コメント

1 インフルエンザ

定点当たり14.57人の報告があり、注意報レベル(定点当たり10.0人)を上回りました。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等の報告が26件(前週4件)あり急増しています。手洗い、咳エチケット、換気などの感染予防対策を徹底しましょう。(次ページ参照)

2 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり2.66人の報告があり、減少が続いています。引き続き、基本的な感染対策を徹底しましょう。

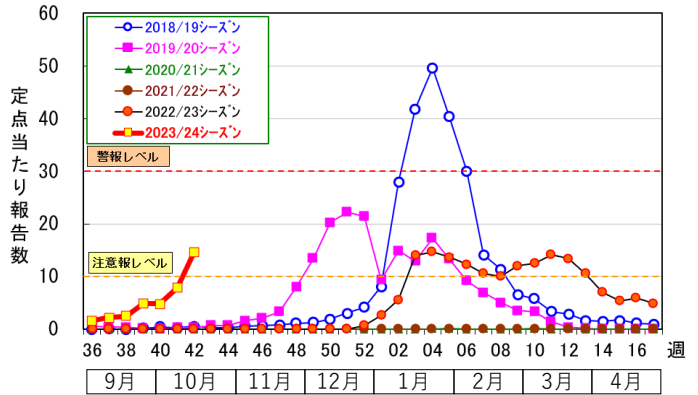
3 咽頭結膜熱

定点当たり1.04人の報告があり多い状況です。手洗いの励行、タオルの共用は避けるなど、感染予防を心がけましょう。

4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当たり2.74人の報告があり増加傾向です。幼児、学童を中心に、年間を通じて患者がみられますが、春から初夏、秋から冬にかけて多くなる傾向があります。感染予防には、患者との濃厚な接触を避けることや、手洗いなどが有効です。

インフルエンザの流行状況(広島市)



定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
インフル	インフルエンザ	510	14.57	0.17	▲	小児科	ヘルパンギーナ	16	0.70	0.79	▲
	新型コロナウイルス(COVID-19)	93	2.66		▲		流行性耳下腺炎	-	-	0.13	
小児科	RSウイルス感染症	-	-	0.53		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	咽頭結膜熱	24	1.04	0.18	▶		流行性角結膜炎	11	1.38	0.60	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	63	2.74	1.07	▲	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	41	1.78	2.80	▲		無菌性髄膜炎	-	-	-	
	水痘	1	0.04	0.09			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.03	
	手足口病	39	1.70	1.47	▶		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	1	0.04	0.08			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	
	突発性発しん	5	0.22	0.44							

急増減	▲	▼	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	▲	▼	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	▶	◀	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	◀	▶	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	35
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
5	カルバパネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	9	80歳代
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	4	70歳代
5	後天性免疫不全症候群	1	9	30歳代・エイズ
5	梅毒	8	237	20歳代・1人、30歳代・2人、40歳代・3人、60歳代・2人

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	第38週 第39週 第40週 第41週 第42週	インフルエンザ	新型コロナウイルス (COVID-19)	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎	
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
定点 当 たり	広島市	第38週	87	330	6	12	48	49	1	60	-	9	25	2	-	10	-	-	-	-	-	-	-
		第39週	175	269	4	12	49	51	1	78	-	4	42	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-
		第40週	174	158	4	12	53	52	1	82	-	4	40	1	-	9	-	-	-	-	-	-	-
		第41週	282	144	2	27	51	53	4	41	-	6	10	-	-	3	1	-	-	-	-	-	-
		第42週	510	93	-	24	63	41	1	39	1	5	16	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-
	全国	第38週	2.42	9.17	0.25	0.50	2.00	2.04	0.04	2.50	-	0.38	1.04	0.08	-	1.25	-	-	-	-	-	-	-
		第39週	4.86	7.47	0.17	0.50	2.04	2.13	0.04	3.25	-	0.17	1.75	-	-	0.63	-	-	-	-	-	-	-
		第40週	4.83	4.39	0.17	0.50	2.21	2.17	0.04	3.42	-	0.17	1.67	0.04	-	1.13	-	-	-	-	-	-	-
		第41週	7.83	4.00	0.08	1.13	2.13	2.21	0.17	1.71	-	0.25	0.42	-	-	0.38	0.14	-	-	-	-	-	-
		第42週	14.57	2.66	-	1.04	2.74	1.78	0.04	1.70	0.04	0.22	0.70	-	-	1.38	-	-	-	-	-	-	-

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	発症年月日	検査材料	検出病原体
流行性角結膜炎	結膜充血	35	2023/08/21	結膜擦過物	アデノウイルス56型
無菌性髄膜炎	発熱(39.4°C) 肝機能障害 髄膜炎 出血傾向	0	2023/08/23	咽頭拭い液 髄液 糞便 尿	コクサッキーウイルスB5型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】インフルエンザの予防、流行の拡大防止対策を徹底しましょう！

広島市におけるインフルエンザの流行では、例年12月から1月頃に注意報レベルを上回っていましたが、今シーズンは異例の早さで注意報レベルを上回り流行が拡大しています。

また、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響で、インフルエンザの流行が低調であったこと等により、抗体の保有割合が全年齢で低下傾向にあること等から、インフルエンザの流行が起こりやすい状況にあると考えられています。

【参考】令和5年度 今シーズンのインフルエンザ総合対策について(厚生労働省)
<https://www.mhlw.go.jp/stf/index2023.html>



インフルエンザの予防、流行の拡大防止対策

- ◆ 流水・石けんによる手洗いをこまめに行いましょう。
- ◆ 咳エチケットを心がけましょう。
 - ・咳やくしゃみの症状がある場合は、マスクを着用する。
 - ・咳やくしゃみをするときは、ティッシュや上着の袖などで口や鼻を覆う。
 - ・使用後のティッシュは、すぐにゴミ箱に捨てる。
- ◆ 室内では適度な湿度(50~60%)を保ちましょう。また、換気を行いましょう。
- ◆ 本格的な流行時は、人込みへの外出を控えましょう。
- ◆ ワクチン接種を希望される方は早めに受けましょう。

新型コロナウイルス(COVID-19)感染症の相談窓口

発熱時等の受診相談「受診案内・相談ダイヤル」

TEL 082-241-4566

(24時間対応)

療養者からの相談「療養者相談ダイヤル」

TEL 0570-000-510

(健康相談 24時間、一般相談 8:30~18:00)

「新型コロナウイルス感染症に関する情報」(広島市) <https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/>



本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/infectious-disease/>



【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
 TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp